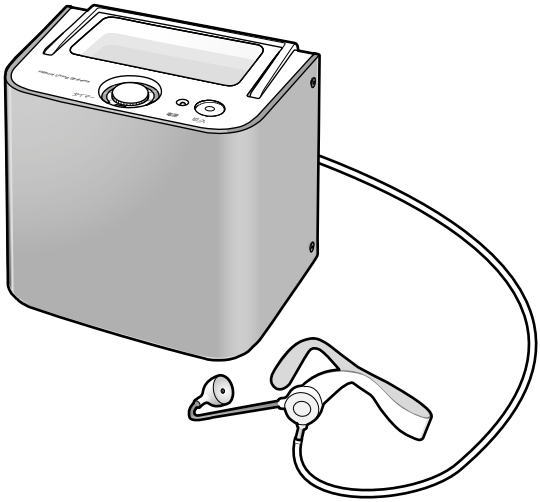
取扱説明書

Hitachi Living Systems

家庭用 高濃度酸素発生器

HSR-1

このたびは、高濃度酸素発生器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存してください。



目　次

■安全上のご注意……2
■各部の名称……6
■準備……7
■使用方法……9
■お手入れ……11
■故障かな?と思ったら……12
■仕様……13
■別売品……13
■保証とアフターサービス……14
■日立家電品についてのご相談や修理は
お買い上げの販売店へ……15

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

安全上のご注意

ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告	取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表します。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表します。

記号について

例
△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。左図の場合は「感電注意」を表します。

例
⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」を表します。

例
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の上は、「差込みプラグを抜く」下は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警　告

お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載しているイラストは異なる場合があります。

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

水ぬれ禁止

医療行為に使用しない

本製品は医療器具ではありません。絶対に医療目的には使用しないでください。けがや事故の原因になります。

禁止

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

差込みプラグを抜く

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電やけがの原因になります。

禁止

スプレー・殺虫剤・ベンジン等、引火性のものを吹きかけない

酸素と結合して爆発する恐れがあります。

禁止

浴室やサウナなど湿気の多いところで使用しない

感電やけがの原因になります。

禁止

安全上のご注意（つづき）

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る
火災の原因になります。

警告

酸素吸入以外の目的では使用しない
発火、物的損害の原因になります。

禁止

幼児には使用させない
事故・けがの原因になります。

禁止

梱包材を適切に処理して、幼児や子供に触れさせないでください
けがの原因になります。

警告

⚠ 注　意

殺虫剤を使用する場合は運転をしない
機器内部に薬剤成分が蓄積し、その後運転したときに放出されることがあります。
●殺虫剤使用後は、十分換気してから運転してください。

禁止

長期間ご使用にならない場合には、高濃度酸素発生口にゴミ等が入らないようにご注意ください
カバー等をしてください。

注意

灯油・ガソリン・煙草の吸がら等を空気取入口から吸わせない
故障や性能の低下の原因になります。

禁止

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

禁止

高濃度酸素発生口を物・指でふさがない
故障の原因になります。

接触禁止

本製品の上に物を置いたり、乗ったりしない
けがや故障の原因になります。

禁止

火気に近づけない
火災の原因になります。

禁止

じゅうたんやカーペットなど毛足の長いしわになりやすいものの上に置かない
本体底部には空気排気口があります。けが、変色や故障の原因となります。

禁止

お願い

■引きずって移動しない
机などに傷がつく恐れがあります。

■傾けない
故障・けがの原因になります。

■落下させない
故障・けがの原因になります。

■タコ足配線はしない
火災の恐れがあります。

■イヤーハングセットは常に清潔な状態でご使用ください

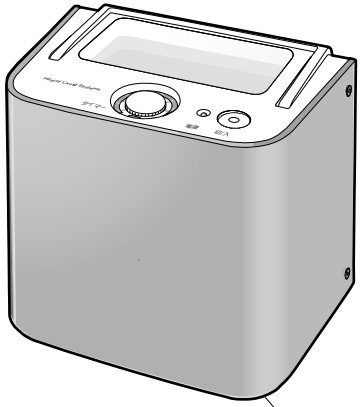
■ボトルに水を入れてご使用の場合はその水などを毎日交換してください

■次のような場所では使用しない
- **熱に弱い敷物やテーブルの上に置かない**
  本体内部は排気熱で熱くなります。
- **悪臭や排気ガスのある所では使用しない**
  不快な臭いやガス成分が濃縮されることがあります。
- **ストーブなど熱源の近くに置かない**
  火災・故障の原因になります。
- **直接日光の当たる場所や、温度・湿度の高い場所**
  故障・変形の原因になります。
- **テレビなどの電気製品や暖房器具の上**
  火災・感電の原因になります。

■移動の際は電源プラグ・イヤーハングセットをはずしてください

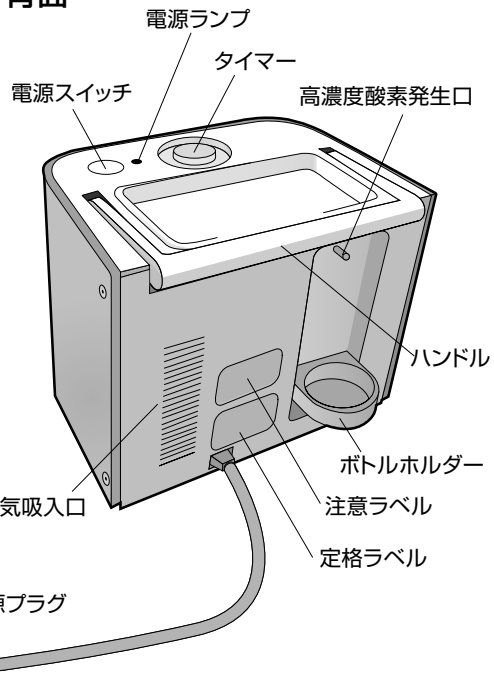
各部の名称

正面

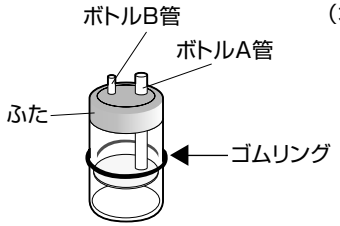


空気排気口
（本体底部）

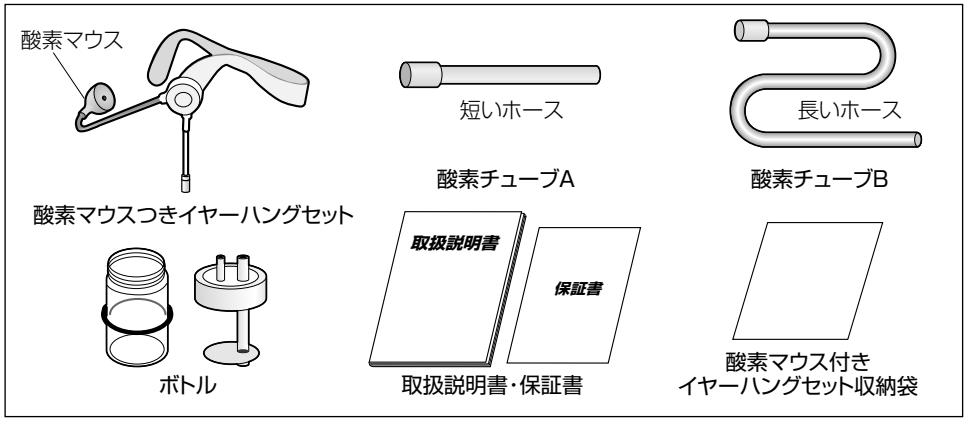
背面



ボトル



■付属品

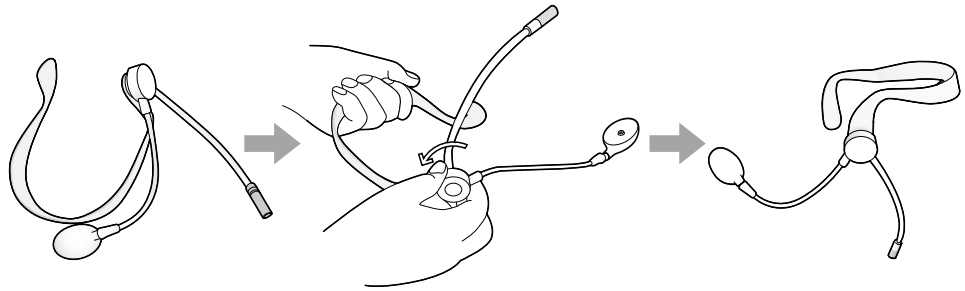


準備

■酸素マウス付きイヤーハングセットの接続方法

1. 酸素マウス付きイヤーハングセットのセッティング

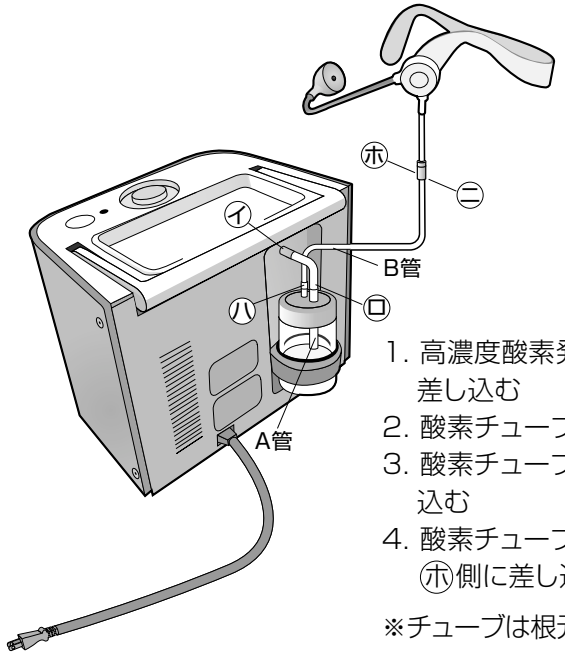
梱包状態から図のように酸素マウスの位置を調整します。

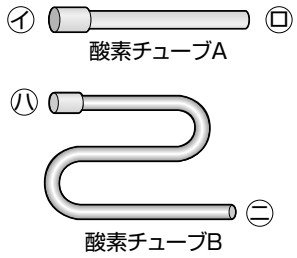


梱包状態　　調整の仕方　　使用前の状態

酸素マウス付きイヤーハングセットを初めてご使用になるときは、ホコリ・ゴミ等が付着していないことを確認し、清潔な状態にしてからご使用ください。

2. 本体への取り付け方





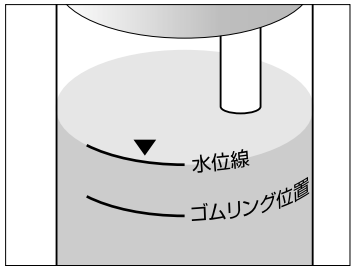
1. 高濃度酸素発生口に酸素チューブAの㋑側を差し込む
2. 酸素チューブAの㋺をボトルのA管に差し込む
3. 酸素チューブBの㋩側を酸素ボトルB管に差し込む
4. 酸素チューブBの㋭側をイヤーハングセット㋬側に差し込む

※チューブは根元までしっかり差し込んでください。

3. ボトルへの注水とボトルホルダーへのセット

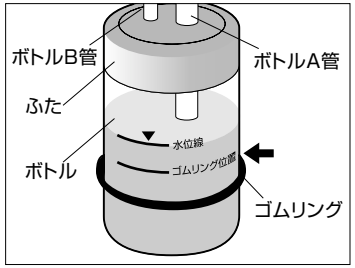
●ボトルに注水しないで、そのままボトルホルダーにセットして使用することもできます。

〈注水〉

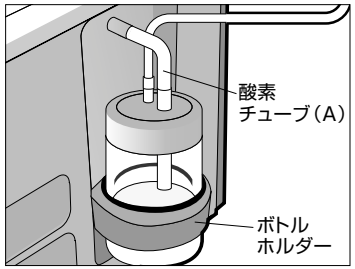


1. ボトルのふたをはずしてボトルの水位線マークまで水道水を入れます。
   ※この時、ボトルA管の先端が水に浸っていることを確認してください。
   ※水位線以上、水を入れると酸素マウスから水滴が出てくる原因となります。
2. ふたはしっかり締めてください。
   ※水がふたとボトルの間から出る原因となります。
   ※ボトルが濡れている場合は拭いて下さい。

〈ボトルのボトルホルダーへのセット〉



1. ボトルに付いている黒いゴムリングをボトルのゴムリング位置に合わせてください。
   ※ゴムリングをマーク位置に合わせないと運転中ボトルから振動音がすることがあります。



2. ボトルをボトルホルダーにセットします。
   酸素チューブ（A）短い方が左図の位置になるように調整してください。
   ※この位置にならないとボトルが傾き不安定となって振動音がすることがあります。

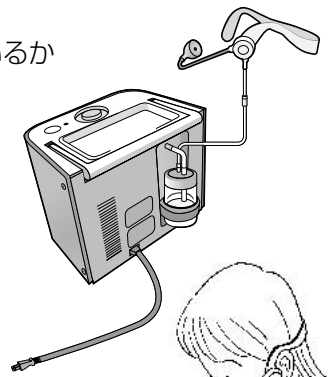
使用方法

⚠ 注意

- ●本製品のご使用は、室温が5℃以上30℃以下でご使用ください。
- ●直射日光のあたる場所での使用および保管は避け、45℃以下の場所で保管ください。
- ●本体の使用初めは、製品独自の匂いがする場合がありますが、時間が経つと匂いは徐々に少なくなります。また、毎回の使用初めは1分程、接続した状態で運転してください。
- ●長時間運転したり湿気が高いと酸素マウスから水滴が出たり風量が少なくなったりすることがあります。
- ●ラジオに雑音が入ることがあります。1m以上離してください。

① 準備の項（P.7）を参照し正しく接続されているか確認してください。

② 本体の電源プラグをコンセントに差込む。



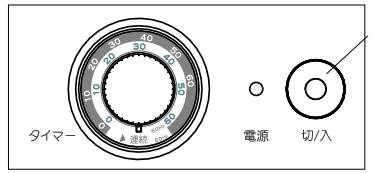
③ イヤーハングセットを図Aのようにして、両耳にかける。

図A

④ 酸素マウスを極力、鼻の近くにセットする。（図Bのようにパイプの根元に負担がかからないよう根元を支えながら微調整をしてください）

図B

④電源スイッチをONにする。



⑤ タイマーを連続運転か、60分以内の任意の時間にセットする。（P10参照）
注意: 50Hz･60Hz地域用の目盛りがあります。

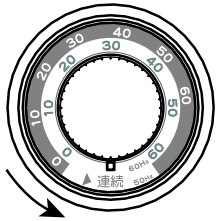
ポイント

使用時間の目安は、仕事や運動などの前なら15～20分、後では、30～40分のご使用をおすすめします。

■ タイマーについて

本製品にはタイマー機能がついています。
本製品のタイマーノブで0～60分の範囲で時間をセットしますと、その時間経過後（「0」に戻り）に自動的に高濃度酸素の供給が停止します。（電源は切れません）

※タイマー機能を連続に合わせると電源スイッチをOFFにするまで本製品は作動し続けます。
※本製品は50Hz･60Hz地域で使用できますが50Hz･60Hzの地域によってそれぞれのタイマー目盛り表示に合わせてご使用ください。
※「連続」にする場合は「0」の位置から矢印の方向に切替えてください。



■純正アロマオイル（O²asis専用別売品）の使用方法

本製品は、別売品のアロマオイルを使用することによりアロマテラピー機能を体感することができます。（P13参照）

1. イヤーハングセットをボトルにセットする。
   ボトルのふたを開け、水道水を水位線まで入れる。（P8参照）
2. 別売品のアロマオイルを、適量（1～2滴）、ボトルに入れる。
3. ふたをしっかり閉めて、ボトルホルダーにセットする。

※別売のアロマオイルは、ラベンダー･グレープフルーツ･ペパーミントの3種類あります。別売の純正アロマオイル以外は絶対使用しないでください。ボトルやチューブの変色、つまりの原因になります。

ポイント

湿度の高い時は、冷水または氷片を1～2個入れると、水滴や結露をおさえる効果があります。（水位線以上にならないようにしてください。）

⚠ 注意

- ボトルに水･アロマオイルを入れてご使用の場合は、ご使用の都度ボトル内の水を交換して清潔にしてください。
- ご使用中にイヤーハングセット、酸素チューブ内部、酸素マウスには、空気中に含まれる水分により結露し、水滴が溜ることがあります。酸素マウスから水滴が出たり風量が少なくなったら、酸素チューブを外してから水を抜くなどして、乾燥させてください。

お手入れ

〈本体〉

本製品は空気吸入口内側にフィルターを装備しております。定期的に、フィルターのほこりを掃除機等で空気吸入口から吸い取ってください。性能の維持のため、必要な作業です。

- 長時間保管をするときは十分に乾燥させ、ポリ袋等で密封し、虫などが入らないようにしてください。特に高濃度酸素発生口に異物が入らないようにご注意ください。
- 丸洗いは絶対にしないでください。ショート･感電のおそれがあります。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート･感電のおそれがあります。

〈酸素チューブ〉

- 水に2～3分浸し、チューブの中に水を通すように洗ってください。60℃以下のお湯に2～3分浸して洗うと効果的です。
- 陰干しにして十分乾燥してください。ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

〈酸素マウスつきイヤーハングセット〉

- 水拭きをしてください。
- 陰干しにして十分乾燥してください。ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

※イヤーハングセットは丸洗いしないでください。
酸素マウスは絶対水洗いしないでください。

〈ボトル〉

- 洗うときは、クレンザーやたわし類は使わないでください。表面が傷み、汚れが落ちにくくなります。
- 長期保管後の使用は、充分に水洗いをしてください。
- 常にボトル内部は清潔に保って、水を入れてご使用の場合は毎日、水を交換して清潔を保ってください。

お願い

- 洗剤･ベンジン･シンナー･アルコールなどは使わないでください。（ひび割れや変色の原因になります）
- 化学ぞうきんは使わないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に次の点をお調べください。
下記の点検·処理をしても改善されないときは、お買い上げの販売店または、
ご相談窓口（P.15）にお問合せください。

症状	原因	処理方法
作動しない	1. 電源プラグをコンセントに差し込んであるか確認してください。	●再度、コンセントに入れてください。
	2. タイマーがOFF（0）になっていませんか。	●タイマーを連続運転また60分以内の任意の時間にセットしてください。
	高い温度の部屋で連続して運転すると本体内ポンプの加熱を防ぐ保護装置が働きポンプが停止します。この場合、30～60分程度放置しますと復帰して運転できます。	
酸素マウスから空気が出てこない	1. イヤーハングセットの接続が外れていませんか。	●イヤーハングセットを接続してください。
	2. 酸素チューブが折れたりねじれていませんか。	●酸素チューブをまっすぐにし空気が流れるようにしてください。
	3. 空気吸入口をふさいでいませんか。	●空気吸入口のほこり等を掃除機で吸い取ってください。
		●障害物がある場合は、取り除いてください。
	4. 空気排気口をふさいでいませんか。	●障害物がある場合は、取り除いてください。
使用中に空気量が少なくなった	酸素チューブ内、酸素マウスに水が付いている。	●酸素チューブ、酸素マウスを取り外して水抜きや乾燥をさせてください。
酸素マウスから水がでてくる	ボトル内の水が水位線より多く入っていませんか。	●ボトル内の水を水位線に合わせてください。 ●空気中の湿度が高い場合はボトルの中に氷を1～2個入れてボトル内の水の温度をさげてください。 （水位線以上にならないようにしてください）
吹出し風が不快な臭いがする	酸素チューブ、ボトル内が汚れていませんか。	●酸素チューブ、ボトル内を水洗いしてください。 （酸素マウスは水洗いしないでください）

仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力（50/60Hz）	44W（50/60Hz）　待機時0.9W
酸素発生方式	膜分離式（酸素富化膜）
酸素濃度（20℃/通常気圧）	約30%
空気流量（20℃/通常気圧）	※約2.5L/分
使用温度	5℃～30℃
タイマー	0～60分/連続
外形寸法（幅×奥行×高さ）	260×215×210mm
質量	4.8kg
酸素チューブ長さ	約1.5m（本体ボトルからイヤーハングまでの長さ1.7m）
電源コード長さ	1.9m
吸入方式	イヤーハングセット式

※高濃度酸素発生口での値。温·湿度により変動します。

別売品

① アロマオイル
（グレープフルーツ）

形式: HSR-AG
希望小売価格: 2,000円

② アロマオイル
（ラベンダー）

形式: HSR-AR
希望小売価格: 2,000円

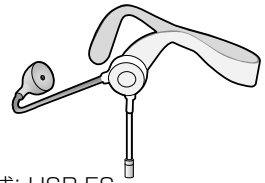
③ アロマオイル
（ペパーミント）

形式: HSR-AP
希望小売価格: 2,000円

④ 交換用酸素マウス（2個セット）

形式: HSR-M1
希望小売価格: 1,000円

⑤ 酸素マウスつきイヤーハングセット



形式: HSR-ES
希望小売価格: 2,500円

※希望小売価格は
平成15年8月1日現在の価格です。
※希望小売価格には消費税は
含まれておりません。

保証とアフターサービス

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（P.15）にお問合わせください。

❶保証書 （本体同梱）		保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間―お買い上げ日から1年間です。
❷修理を依頼されるとき		この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな?・・・と思ったら」（P.12）の点検をしていただき、それでも故障と思われる場合には運転を停止し、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店にご相談ください。
	保証期間中	保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、保証書をご用意のうえ、お買い上げの販売店にご連絡ください。 お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、ご相談窓口（P.15）にご連絡ください。
	保証期間経過後	お買い上げの販売店にご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。販売店にご依頼にならない場合には、ご相談窓口（P.15）にご連絡ください。
❸補修用性能部品の保有期間		酸素発生器の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後6年です。 この期間は経済産業省の指導によるものです。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌2条4−1−10
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町1−1−45
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野2−7−5（日立家電上野ビル）
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区新守町59(日立家電新守山ビル)
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町1−3−8
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町1−7−17
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町4285−143
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町7−18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称,所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

愛情点検 長年ご使用の酸素発生器の点検を!

このような症状はありませんか

- ●運転開始後回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- ●運転中に異常音がしたり振動がある。
- ●異臭がする。
- ●その他、異常を感じる。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、運転を停止し、電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。

メモ欄

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611
FAX.03（3260）9739

HSR2503102K1